

さかいまち 議会だより

No. 185

平成30年11月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会
〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873
ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



オープニングセレモニー（平成30年9月12日）

目次

平成30年第3回定例会議決事項 P 2~P4

一般質問 P 5~P7

議会活動 P 7~P8

平成30年 第3回定例会

9月5日～9月12日（8日間の会期）

9月5日から12日までの8日間の会期で開催され、報告2件、専決処分2件、平成29年度決算認定8件、条例1件、補正予算5件、その他2件の議案が提出され原案のとおり承認・認定・可決されました。

また、陳情については、継続審査となりました。



決算委員会を進行する 木村 信一 委員長

決算特別委員会報告

開会初日（9月5日）本会議に提案された平成29年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月10日・11日に開催され、慎重に審査をした結果いづれの会計とも認定すべきものと決定し、9月12日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月25日（金）・8月28日（火）に、平成29年度境町一般会計及び特別会計6件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果次のとおり報告がありました。

境町監査委員 山本隆行
境町監査委員 斉藤政雄

一般会計

○厳しい財政状況の中、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に務められたことが確認できる。歳入財源は、町税収入・国庫支出金・ふるさとづくり寄付金及び茨城さかいソーラー売電収入による寄付金が増となり施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。歳出については、経費節減や効果的な事業への取り組み等が伺え、順調に執行されたものと確認できるが、各種団体等への補助金については十分に精査して財源の有効活用を務めていただきたい。

特別会計

○独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に務められた。国民健康保険の広域化や介護の新規事業等に伴い今後の事業内容等も様々な課題が生じてくる可能性が考えられる。下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想される。

水道事業

○水道料金の収納確保や有収率の向上及び経費の節減等に務め、老朽施設・設備の適切な維持管理と大震災の教訓から、耐震整備を計画的に進め、安心して利用できる水道水の安定供給を図れるよう要望する。

今後の行財政運営に当たっては、施策内容等を十分に精査し、より効果的かつ効率的な実施に務め、多様化している住民ニーズや社会情勢に対応できる事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

平成29年度各種会計決算状況

歳入

町税	35億4,250万823円
地方譲与税	1億2,871万3,000円
利子割交付金	431万2,000円
配当割交付金	1,306万7,000円
株式等譲渡所得割交付金	1,295万8,000円
地方消費税交付金	4億2,248万7,000円
ゴルフ場利用税交付金	355万9,920円
自動車取得税交付金	3,509万5,000円
地方特例交付金	1,357万4,000円
地方交付税	15億7,536万1,000円
交通安全対策特別交付金	343万3,000円
分担金及び負担金	1億6,587万6,476円
使用料及び手数料	7,457万5,720円
国庫支出金	14億7,451万8,707円
県支出金	6億7,326万5,869円
財産収入	1,168万1,071円
寄付金	23億2,535万7,362円
繰入金	23億1,409万1,268円
繰越金	3億5,070万7,630円
諸収入	1億5,033万239円
町債	7億9,393万5,000円
計	140億8,940万85円

歳出

議会費	1億655万9,617円
総務費	27億6,622万4,067円
民生費	29億2,854万8,908円
衛生費	8億1,894万4,939円
労働費	2,520万4,098円
農林水産業費	4億4,124万263円
商工費	3億1,011万7,911円
土木費	15億593万8,419円
消防費	3億8,496万44円
教育費	8億9,956万3,672円
災害復旧費	0円
公債費	10億4,863万6,237円
諸支出金費	24億8,479万6,489円
予備費	0円
計	137億2,073万4,664円

特別会計

坂東市外2か町公平委員会

歳入	97万8,554円
歳出	29万5,156円

国民健康保険事業

歳入	35億4,814万8,656円
歳出	34億2,030万431円

後期高齢者医療事業

歳入	4億3,954万5,747円
歳出	4億3,784万5,103円

介護保険事業

歳入	19億1,408万7,995円
歳出	18億2,987万7,841円

公共下水道事業

歳入	10億703万8,776円
歳出	9億9,115万4,656円

農業集落排水事業

歳入	2億1,978万90円
歳出	2億1,282万3,048円

水道事業

収益的支出	5億7,663万4,789円
資本的支出	6,544万5,985円

平成30年 第3回定例会審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
報告第4号	平成29年度境町財政健全化判断比率の報告について	—	—
報告第5号	平成29年度境町公営企業資金不足比率の報告について	—	—
議案第58号	境町子ども未来基金条例の制定について	平成30年9月12日	原案可決
議案第59号	土地改良事業の計画について	平成30年9月12日	原案可決
議案第65号	工事請負契約の締結について	平成30年9月12日	即日原案可決
発議第3号	境町議会決算特別委員会の設置について	平成30年9月5日	即日原案可決

補正予算関係

平成30年度境町各種会計補正予算

会計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計	118億8,897万3,000円	19億8,790万4,000円	138億7,687万7,000円	
特別会計	国民健康保険事業	31億6,162万2,000円	9,557万1,000円	32億5,719万3,000円
	介護保険事業	18億9,990万円	8,433万4,000円	19億8,423万4,000円
	公共下水道事業	11億5,061万9,000円	△200万円	11億4,861万9,000円
	農業集落排水事業	2億3,260万円	200万円	2億3,460万円

承認審議結果

番号	件名	議決年月日	結果
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度境町一般会計補正予算(第3号))	平成30年9月5日	即日原案承認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度境町一般会計補正予算(第4号))	平成30年9月5日	即日原案承認

陳情審議結果

番号	件名	議決年月日	結果
陳情第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情について	平成30年9月12日	継続審査

一般質問

1番 議席2番 岩崎 博 議員

(1)文化村施設について

2番 議席5番 櫻井 実 議員

(1)防災・減災対策について

(2)オリンピック・パラリンピックの
のホストタウンについて

3番 議席10番 田山 文雄 議員

(1)マイナンバーカードの推進について

(2)交通弱者対策について

(3)学校施設や通学路における安全確保の
推進について

3人の議員が登壇しました

Q

文化村いこいの広場について。

複合的な施設整備を予定している。
(秘書公室長)

A

オリンピックで使用されるコートと同じハードコート2面、テニスの4大会である全仏オープンと同等のクレーコート2面を年度内完成に向け整備を進めていく考えである。また、企業版ふるさと納税を活用し、シャワールームやトイレ、宿泊施設等にも使用可能なトレーラーハウスをテニスコートの隣に設置し、オリンピックの事前キャンプにも対応できる

文化村施設について



議席2番

岩崎 博 議員



Q 歴史民俗資料館について。

10月のリニューアル開館に伴い、歴史的展示物の保存や来館者の方々を考慮し、エアコンの設置を検討している。
(教育次長)

(教育次長)

A

「いこいの広場」については、リニューアルに伴い町内小中学生に公募し、9月12日に「ニコニコパーク」としてオープニングセレモニーを行う。暑さ対策については、当町も日陰になる休憩所が必要と考えていることから、雨天時にも遊ぶことができるよう、ニコニコパーク全体に屋根を設置することを含め、あずまやなど部分的な設置をしていきたい。トイレについては、保健センター北側に増築可能か検討していく。

防災・減災対策について



議席5番

櫻井 実 議員

Q 災害発生時の避難意識の向上及び継続性について。

総合防災訓練の実施や日頃からの避難訓練等の体験など様々な取り組みを通じて、継続的かつ根気よく避難意識の向上を図ることが重要と考えている。
(理事兼防災安全課長)

(理事兼防災安全課長)

Q 被災者台帳システムの導入について。

茨城県では、罹災証明の発行などを迅速に行うため本システムを導入を進めており、当町を含め県内43市町村で導入を決定したことから今回の補正予算に追加負担を計上した。
(理事兼防災安全課長)

(理事兼防災安全課長)

Q 避難所への段ボールベットの備えについて。

A 低体温症、エコノミークラス症候群、呼吸器疾患に有効であること実証研究成果もあり、プライベート空間の確保にも有効であると認識し、備蓄品としての確保を検討しており、古河市内の段ボール事業者と災害協定の締結に向け調整中である。

(理事兼防災安全課長)

Q 本町の危機管理室設置について。

A 昨年4月から陸上自衛隊OBを危機管理監として採用し、災害及び危機管理業務に従事しているところであり、今のところ危機管理室を設置する考えはない。

(総務部長)

オリンピック・パラリンピックのホストタウンについて

Q ホストタウンの機運を盛り上げるために原動機付自転車のナンバープレートオリパラ仕様デザインして発行してはどうか。

A オリンピックに関する知的財

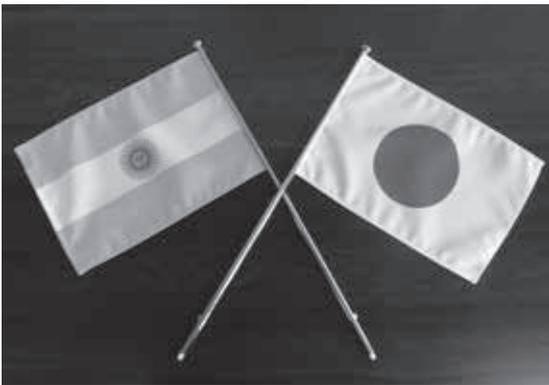
産は、オリンピック憲章や国内における商標法、著作権法などにより保護されており、オリパラ仕様のナンバープレートの発行は非常に難しい状況である。

(秘書公室長)

Q 街中や使用施設の周辺に両国の国旗を掲揚して歓迎ムードを高めてはどうか。

A 街中の街路灯に国旗を掲げたり、運動会などで使う連続した国旗も掲げたい。また、選手の来日に合わせて横断幕を作成するなど機運を高めたい。

(秘書公室長)



議席10番

田山 文雄 議員



マイナンバーカードの推進について

Q 全国的にも進んでいない現状であると思うが、当町における取り組みについて。

A 当町においても、国が策定した取得促進や利活用促進のための先進事例集や近隣市町の推進取得を参考に、マイナンバーカードの推進に努めてまいりたいと考えている。

(総務部長)

交通弱者対策について

Q 車を運転せず、公共交通機関の難しい高齢者が増加する中で、買い物や通院のための対策が必要であるが、当町の取り組みについて。

A お年寄りや小さいお子さんなどの、いわゆる交通弱者をはじめ、真に住民の皆さんに必要な公共交通網の整備に向け、町の指針となる境町地域公共交通網形成計画を策定中である。多方面からの意見やニーズを計画に反映させるべく、住民の代表、行政、有識者、交通事業者等で組織される境町公共交通活性化協議会を設立するための準備を進めている。

(秘書公室長)



学校施設や通学路における 安全確保の推進について

Q 今年6月に文科省より、学校におけるブロック塀等の安全点検等についての通知がなされていますが、当町の現状と対策について。

A 6月18日の地震発生後、速やかに学校施設において、ブロック塀等の点検を実施した。境小学校と静小学校において、通学路に沿ったプール脇のブロック塀が基準を超えるものであったことから、安全性を期すため、これを撤去し軽量のフェンスに切り替える工事を発注した。通学路の安全を確保するためには、民間の方々からの協力が必要であることから、7月15日号お知らせ版で広報を行った。

(教育次長)



改修中の境小学校ブロック塀

議会活動

境町水害避難タワー 落成式

7月30日に「水害避難タワー」の落成式が挙行されました。この避難タワーは、日本初の建築物であり、万が一の利根川決壊に備え役場庁舎と連結され、庁舎とタワーを合わせ1,000人の収容が可能であり、地域住民の命を守る重要拠点になるものです。



役場庁舎800人・避難タワー200人収容可能

夏休み期間中における 議場の有効活用

今夏の連日の猛暑対策、また、学生の皆さんに議会をより身近に感じていただくため、8月1日から24日までの夏休み期間に議場を学習室として開放いたしました。期間中は、延べ42名の中高生が自主学習に取り組みれておりました。



夏休み期間 中高生の自習室として議会議場を開放しました

境町六次産業施設の視察

9月11日に、現在町が事業を進めている六次産業施設等の視察を行いました。



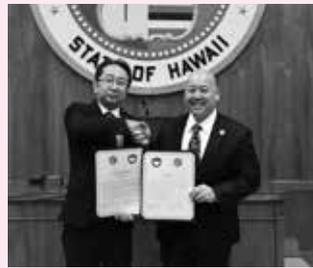
道の駅さかい内 さかいサンドの視察を行いました

ハワイ州 ホノルル市との友好都市協定締結!!

境町とホノルル市、境町議会とホノルル市議会は、9月25日・26日（現地時間）にそれぞれ友好交流都市協定を締結いたしました。

協定書には、観光・商業・教育など各分野で協力していくことが盛り込まれております。

境町議会としても一丸となって、現地商工会議所と連携した商業的な交流や、児童生徒の交換留学などの教育的交流を推進してまいります。



消防ポンプ操法競技大会

10月7日に第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西部地区大会が常総市地域交流センターにおいて開催され、境町消防団からは第一分団が出場し堂々の準優勝に輝きました。

消防団においては、住民の生命と財産を守るため日々活動されており、その中で第一分団におかれましては5か月間もの長期に亘り大会の練習に励んでこられました。境町議会としてはこれからもより一層、消防団の各種活動に協力してまいります。



準優勝に輝いた境町消防団第一分団

広報研修会

広報編集委員会では10月10日に東京都で開催された町村議会広報研修会に参加してまいりました。

これからも委員会では、住民の皆様に関心を持っていただくため、親しみやすい広報紙の製作に取り組んでまいります。



◎広報編集委員会

委員長	岩崎 博
副委員長	飯田 進
委員	須藤 信吉
委員	相良 昌宏
委員	鈴木 英明